

校長室の窓から 182

080130 なわとび大会の準備を進めています

2月5日(木)にある「なわとび大会」に向けて、学校全体が活気づいています。

短なわ部門の各学級の代表選手が出そろいました。自分の出場種目が定まったことで、休み時間になると、多くの子供たちが出場種目の練習に精を出しています。



低学年の近くを通ると、たいてい、「校長先生見とって」「数えて」とお願いされます。小さな学年の子供たちは、とにかく1回でも長く続けて跳ぼうと一生懸命です。

高学年になると、勝負はスピードにかかってきます。いかに速く跳ぶかを意識して練習しているようでした。

長なわ部門の方も、熱が入ってきて、学級ごとに「はい、はい」とか「ピーマン(!?)」等のかけ声をかけて、心を一つに練習しています。

順調に記録を伸ばしている間はいいいのですが、ある一定のレベルに達すると停滞期もやってきます。

どうすればもっと回数をのばせるのか、相談し合う学級の姿も見られました。

委員会の時間には、体育委員会の子供たちが、大会のスローガンや目当てを大きな紙に書いて、運営準備をしていました。

当日体育委員会は、司会をしたり、開会・閉会の言葉を言ったりして運営の中心となります。また、競技中の記録判定をしたり、記録の報告を行ったりもするので、責任重大です。

体育委員会さん、がんばってください。

大会までいよいよ1週間をきりました。
当日の子供たちのがんばりが楽しみです。

愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長 堀かおり

